



札幌市議会議員  
豊平区

# ともこ 小竹 知子 政務調査だより

<http://www.parl.biz>

■発行所/札幌市議会議員 小竹 知子 政務調査室

〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28 TEL 011-851-1300 Fax 011-851-1360

■発行日/2012年1月11日(水)

**【活動報告】はブログで! 随時更新中 ブログ<http://ameblo.jp/k-tomoko/>**

昨春の市議会議員選挙で、皆さまの温かいご支援により初当選させていただきました。親、夫と共に営んできた一商家業として、また、一女三男の母としての視点を大切に、深いご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。議員になって、今まで見えていなかった皆さまの問題が多くなると、議員活動と地域活動に全力で取り組んでまいります。経済・教育・福祉・環境について、改めて気づき、驚かされています。しかし、民放ラジオリスターや旅行添乗員として多くの社会勉強をさせていただきました。その経験を十分に生かすとしていきます。

## やさしさで情熱を市政に!

### プロフィール

- 昭和34年9月24日、札幌市豊平区月寒で生まれる。札幌市立月寒小学校・月寒中学校・北海道札幌月寒高等学校・北海道武蔵女子短期大学卒業
- 大学卒業後、STVラジオ「ランラン号」キャスタードライバーなどを経て、結婚後、家業の(株)小竹金物店を両親・夫とともに営む
- 平成23年4月 札幌市議会議員初当選。市議会経済委員会副委員長、経済雇用対策・新幹線等調査特別委員理事。
- 公職 現在、北海道札幌月寒高等学校学校評議員、北海道札幌月寒高校同窓会副幹事長

自民党市民会議を代表して初の代表質問(平成23年12月6日)【その内容は本紙2面に一部掲載】



## 小竹ともこの政策行動

### ❖ TPP問題:影響度についての市の認識を問う

市はその影響の具体的な試算を出していない。情報収集や企業、団体への調査などから、影響の把握に努めたいという態度表明にとどまりました。

### ❖ 公契約条例について

市民、議会に対して説明不足のまま、制定ありきで臨む強行姿勢は、甚だ遺憾。入札制度改革等、必要な施策を行い、憲法、地方自治法、独占禁止法といった観点からの問題点を追及しました。

### ❖ 老人クラブ活動費補助の見直し

地域で生き生き暮らすために必要な場であり、地域貢献の団体でもある。老人クラブの皆さまとの共通認識の下で新制度を導入するよう求めました。

### ❖ 通年型カーリング場の活用方針(月寒東1条8丁目に完成予定)

人気スポーツとして根付き、国際交流、経済効果を高め、スポーツ都市札幌として華開くよう市に対して普及振興策の推進を強く要望しました。

### ❖ 子どもたちの教育環境改善に向けて

家庭の貧困や、虐待、ネグレクトなど複雑な環境にいる子どもたちが増えている。教育と福祉の両面からの支援体制がとれるスクールソーシャルワーカーの増員が必要です。

### ❖ 中学生の運動部活動顧問の派遣

減り続ける中学生の運動部。教育経験者の外部顧問派遣モデル事業の充実を求めました。

### ❖ 定時制高校のサポーターとして

これまで月寒中央商店街を中心に「アルバイト獲得大作戦」や「押しかけボランティア」など活動してきた定時制の生徒たち。今年からは、美園商店街さんにも協力していただけることとなり、その範囲を広げることができました。今後も、地域にあって「人づくりの充実」につながるべく活動をします。

### ❖ 商店街と大型店の連携強化について

「まちづくり」、そして、「地域」のために汗を流している「商店街」。「地域の一員として、企業市民として、大型店も共に、札幌市の商業・地域振興のため連携を深めるべき」と決算特別委員会で指摘。その側面的支援を市に問いかけ、実効性ある回答を引き出しました。

### ❖ 災害教育 「助けられる人」から「助ける人」へ

震災8カ月後の被災地を視察し、岩手県「釜石の奇跡」に学び、災害教育の重要性を再認識。本市においても起こり得る災害に備え、各部署、教育委員会などと連携した取り組みを強く訴えました。

### ❖ 被災地のガレキ受け入れ

市民の安全性と被災地支援を考え、その方向性をさらに具体的に探り早期に結論を求めます。

### ❖ 障がい児・者福祉施設「静療院」の改修

現施設の老朽化に伴い、新しい複合施設の役割を考える時。市の改修案には疑問を感じる。第4回定例会本会議の質問で、増築も含めて検討する旨の回答を引き出しました。

### 市内会創立40周年



▲地元月寒の町内会40周年記念祝賀会で



▲福祉の現場を歩く〜「ひまわり整肢園」など市内障がい児通園施設を視察

### ❖ 行政視察で大阪市へ

生活保護受給者15万人突破(18人に1人)の全国ワースト1の大阪市に、11月不正受給者対策プロジェクトチームが発足しました。その新しい取り組みを調査しました。



▲八王子子小児・障害メディカルセンターにて新たな一次医療施設を視察



